

平成23年第5回市議会定例会報

No.169 平成24年1月1日発行

編集・発行 加古川市議会事務局
加古川市加古川町北在家2000
TEL 079-427-9303

かこがわ 議会だより



大人になったら何になりたい？

平成二十三年十一月二十七日、陵南公民館で「夢のたね実現プロジェクト」が行われました。参加した二十九人の小学生は警察官、ケーキ屋、大工、テレビカメラマン、トリマー、美容師の方々から仕事の話を聞いたり、職業体験をとおして将来の夢を膨らませました。

補正予算9億6,258万3千円を可決

平成23年第5回市議会定例会は、11月29日から12月9日まで11日間の日程で開催されました。

9月の台風被害による災害復旧費を含む、

総額9億6,258万3千円を追加する一般会計補正予算をはじめ、条例の改正など市長提出議案18件の審議が行われ、すべて原案のとおり可決されました。

次の定例会は2月24日から開催する予定です。

- 2月24日(金) 施政方針、23年度補正予算上程(質疑・付託)
24年度予算及び関係議案上程(提案説明)
- 2月29日(水) 各常任委員会(23年度補正予算審査等)
- 3月5日(月) 代表質問
- 3月6日(火) 代表質問
- 3月7日(水) 一般質問
- 3月8日(木) 一般質問
- 3月13日(火) 委員会審査報告(質疑・討論・採決)
24年度予算質疑(付託)
- 3月14日(水) 条例・単行議案質疑(付託)
- 3月15日(木) 各常任委員会(24年度予算審査等)
- 3月16日(金) 常任委員会予備日
- 3月23日(金) 委員会審査報告(質疑・討論・採決)
追加議案上程(即決)

※本会議と委員会は、いずれも午前9時30分に開会する予定です。会議の日程等は変更されることがあります。詳しくは、議会事務局(☎427-9303)へお問い合わせください。

政治倫理審査会が開催されました

渡辺昭良議員が11月18日に自動車運転過失傷害及び道路交通法違反の疑いで逮捕された件について、加古川市議会議員政治倫理条例に違反する疑いがあるとして、政治倫理審査会が11月28日、設置されました。審査会は11月29日、12月1日、6日と開催され、審査の結果、全会一致で今回の行為は同条例に違反するものであるとの結論に達し、その旨の報告書が12月6日、委員長から議長に提出されました。

渡辺議員が辞職

12月8日、渡辺議員から議長に辞職届の提出があり、翌9日の本会議にて許可され、辞職しました。

議決

本定例会初日に、市長から平成23年度一般会計補正予算、条例の制定など計18件が提出されました。

休会中に所管の常任委員会で審査し、本会議最終日に委員長報告があり、すべて原案のとおり可決されました。

可決された主な議案の内容は、次のとおりです。

条例

加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
(賛成多数)

市又は規則で定める者以外が、ごみステーションに排出された資源物等を収集又は運搬することを禁止しようとするものです。

請願

本定例会で審議された請願4件は、すべて賛成少数で不採択となりました。

播州地域の市民の生命と財産を守る一級河川加古川及び一般国道2号の整備事業の推進に関する請願書

国土交通労働組合近畿建設支部姫路分会分会長・小林浩司

国土交通省管理職ユニオン近畿支部姫路分会分会長・尾池慎悟

国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善を求める請願

年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願

消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める請願

兵庫年金者組合加印支部・橋弘康(上記3件)

長楽園の存続を
求める声について
高木 英里 議員
議員 県の土砂災害警戒区域に指定されている中、台風十号で被災したことで、長楽園の廃止を今議会で決定しようとするのに対し、存続を求める声があがっているが、このような声にどうこたえるのか。
福祉部長 現在は長楽園が建設された四十年ほど前に比べ、余暇活用や健康増進のための施設が充実しており、新しい

施設の必要性はないと考えている。また、建設当時に比べ、高齢者の行動範囲が拡大したことにより、高齢者の福祉施策が、施設整備から既存施設の活用へとシフトしていることもあり、今後は、既存施設の活用をしていただきたいと考えている。
その他の質問項目
介護保険について
第五期介護保険事業計画/生活保護受給者への滞納督促
長楽園について
高齢者福祉の充実

謹賀新年



加古川市議会議長
中山 廣司

新年明けましておめでとござ
います。

皆様には、ご家族おそろいで清
々しい新年をお健やかに迎えに
なされたことと、心からお慶び申
しあげます。

さて、昨年は東日本大震災や、
その後の原発事故による放射能汚

染、さらには台風による水害など
多くの災害が発生し、市民生活の
安全・安心の確保や家族・地域の
絆の大切さが改めて認識された年
でした。

このような中、本市においては、
「安全で安心、豊かな暮らしづく
り」「次代へつなぐ子育て、人づ
くり」「活力を生む基盤づくり」
「地域の絆づくり」の四つの柱を
重点施策として取り組んでおり
ます。

市議会といたしましても、地域
の絆を大切に、市民の皆様が安
全で安心して暮らせるまちづく
りのため、議員一同全力をあげて取
り組んでまいりますので、なお一
層のご支援、ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。

写真は議席順に掲載しています。

新政会

「本当に安心して暮らせるまち、
住み続けたい加古川」を目指して

謹んで新春のご挨拶を申しあげま
す。
皆様におかれましては、本年も幸
多き年となりますよう、心よりご祈
念申し上げます。

昨年は東日本大震災という未曾有
の大災害が我が国を襲い、本市にお
いても台風による水害が市民生活を
脅かしました。今更以上、市民
が本当に安心して暮らせるまちを目

指し、防災についてさらなる取り組
みを進めてまいります。様々な問題
を抱え、国民の信頼を得るに至らな
い不安定な国政の中、地方の役割が
さらに重要になっていきます。本市も
「加古川市総合基本計画」を着実に
進めていかなければなりません。
しかしながら長引く景気低迷の中、
さらに厳しい行財政運営が続くこと

が予想されます。
新政会ではさらなる議会改革・行財
政改革を進めるとともに、市民のニ
ーズを的確に捉えた「選択と集中」
で効率的な行政運営に取り組み、い
つまでも住み続けたい加古川づくりに
努めてまいります。今後ともなお
一層のご支援・ご協力を賜りますよ
うお願いいたします。



原田 幸廣



森田 俊和



木谷 万里



玉川 英樹



坂田 重隆



佐藤 守



井上 隆司



松本 裕一



神吉 耕藏



吉野 晴雄

市民クラブ

「将来に展望を持てるまち」を目指して

謹んで新年のお喜びを申しあげま
す。

皆様におかれましては、本年が素
晴らしい一年となりますよう、心か
ら祈念いたします。

わが国においては、少子高齢化の
進行により、医療、年金、介護など
社会保障に関わる多くの課題に対し
て、国民の先行き不透明感や不安感
は一掃できない状況が続いています。

また、加古川市政においても、市
税収入をはじめ歳入の伸び悩みが続
き、限られた財源の中では、市民の
要望すべてにこたえることは難しく、
各施策の「選択と集中」を徹底して
行う必要があります。
さらに、東日本大震災や本市も被
害を受けた台風十二号等を教訓とし
て、早急に危機管理体制を強化する
必要があります。
以上の点を踏まえ、私たち市民ク
ラブは、市民の皆様のご代表として、
各世代が将来に展望を持てる施策を
できる限り多く実現するため、今年
も活動してまいりますので、ご支援、
ご協力をよろしくお願い申しあげま
す。



中村 亮太



堀井 健智



畑 広次郎



安田 実稔



村上 孝義



名生 昭義



御栗 英紀

公明党議員団

「支えあう社会」「安心・安全な社会」を目指して

謹んで新春のお慶びを申し上げま
す。本年も健やかで、幸多き年とな
りますように、心よりお祈り申しあ
げます。

昨年は、東日本大震災、本市では
九月の台風による被害等、国民の生
命・財産を脅かす災害が発生しまし
た。被災された方々には心からお見
舞い申し上げます。

日本の経済状況は、復旧・復興対
策、円高対策、TPP問題など難し
い課題が山積しております。本市に
おいても、財源収入の減少と、「人

口減少」「高齢化」「単身化」など
社会保障関係費の急増で、財政運営
が圧迫されることが予想されます。
こうした中、地域の実情やニーズに
的確に応えながら、「地域で支えあ
う社会」を構築しなければなりません。
私たち公明党議員団は、「生活者」
「庶民」「現場」の目線を大切にし
ながら、安心・安全なまち加古川を
目指し頑張っております。
本年も一層のご支援を賜りますよ
う心よりお願い申し上げます。



相良 大悟



隈元 悦子



小林 直樹



大西 健一



中山 廣司



三島 俊之

日本共産党議員団

住民が主人公の市政目指して

あけましておめでとございます。昨年は、東日本大震災と福島原発事故、そして九月の台風十二号、十五号で加古川市でも犠牲者が出るなど大変な被害がありました。国政では震災復興を理由に消費税を10%にするとか、全国の多くの市議会・県議会が反対意見を出したにも関わらずTPP交渉参加を行う野田首相など、国民の願いに背く政治が続いています。

国民の願いを実現し、平和とくら



岸本 建樹



井上 津奈夫

しを守るため、日本共産党は、住民が主人公の政治へ転換します。日米軍事同盟に反対し、派遣法と障害者自立支援法の抜本的改正、後期高齢者医療制度の廃止を求める運動を進め、地域医療を守り、国民健康保険料の引き下げ運動に連帯し、住民の健康と安全、暮らし向上のための施策実現を目指します。市政では、市民の懐を温める施策を推進し、加古川東・西市民病院の存続と充実、中学校給食の早期実施、住居リフォーム助成の再開、地域をつなぐ公共交通の拡充、中学卒業までの医療費の無料化などを求め、皆様の願いを市政へ届けてまいります。本年も引き続きご支援をお願いします。



高木 英里

自民クラブ

市民の暮らしと安心できるまちづくり

新年あけましておめでとございます。この一年が健康で幸せな年となりますようご祈念申し上げます。

昨年は、東日本大震災、台風による水害が各地で猛威を振るうとともに、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件や環太平洋連携協定（TPP）加入交渉など日本の外交姿勢が問われた年でもありました。

さて、加古川市では、地域医療の再生を目指し、市民の生命と健康を守るまちづくりを着実に進めるとともに、第五次行革緊急行動計画を推進し、市民の暮らしと安心できるま



田中 隆男



岩城 光彦

ちづくりを進めているところです。私たち自民クラブは、政策提案型の議会活動を通して、東播磨圏域に確固たる基盤を持つ広域医療圏の整備、災害に強い地域力の再生、自然エネルギーの活用、保育サービスの整備、財政基盤確立に向けた新たな産業政策などに強力に取り組んでまいります。

これからも、市民の意見、要望が市政に反映されるよう全力で取り組む決意であります。本年も引き続き、なお一層のご支援をお願いします。

無党派



末澤 正臣



松崎 雅彦

虚礼廃止にご理解とご協力を

議員は、公職選挙法により、市内の人に答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことが禁止されています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一般質問

11月30日と12月1日に行われた一般質問には、12人の議員が質問に立ち、活発な質問を展開しました。主な内容は次のとおりです。

防災の視点から学校給食を充実させる取り組みについて

末澤 正臣 議員

議員 本市では、災害発生時に市民が避難し、一時的に生活できる収容避難所が六十四カ所指定されている。災害発生時には、施設の機能の自立性の確保が必要となるため、給食施設を利用した食事提供など防災機能の充実が必要である。収容避難所には、収容人数の多い小・中学校も指定されており、防災の視点から学校給食を充実させる取り組みについての考え方はどうか。

総務部長 災害発生当初は、ライフラインの断絶が予想されるため、できるだけ調理を必要としない食料を備蓄し、流通業者との協定による食料の確保を行っている。避難所生活が長期化すれば食事に対する要望も変化してくると考

える。避難者への食事提供方法として学校内で調理を行うことは有効と考えられるので、他市や先進地の取り組み状況を参考にしながら研究していきたい。

その他の質問項目
避難所にあたる公共施設（主に小・中学校）の防災機能について
水の確保の現状と今後の方針／避難所のエネルギーの自立性を拡充する取り組み／下水道から合併処理浄化槽への切り替え／衛星携帯電話の増設とSNSの活用／危機管理部門の充実
防災の視点と現行の施策や課題との関連性について
現在の食習慣の中で育つ子どもたちの健康／地域の農業を守ることに、基礎自治体の使命であるとの認識／子どもから消費の意識を変えていく試み／災害に強い

行政評価システムの機能と導入目的について

掘井 健智 議員

議員 地域の課題分析、立案、有効性を評価するための道具として新たな「行政評価システム」の必要性を感じている。しかし、成功事例がある一方で機能を十分発揮していないものもある。本市が本格稼働の準備を進めているシステムの機能と導入目的はどうか。

企画部長 システムには、事務事業のあり方や改善の方向性を見出すための情報整理機能と、加古川市総合基本計画に掲げる各事業のバランスや課題を分析し、効率的な施策展開を図るための経営分析資料を作成する機能がある。

今後、職員に業務改善、経営分析に取り組むための道具としてシステムを提供し、事業の改善や統廃合、新規立案等を行うことへの支援を、導入目的としている。

その他の質問項目
予算編成方針について

浸水などの被害を再発させない水防対策は

安田 実稔 議員

議員 本年九月の台風十二号により、法華山谷川が志方町、西神吉町の各所で氾濫し、床上・床下浸水等、甚大な被害が発生した。こうした災害を再発させないため、河積の拡幅、護岸のかさ上げや川底の浚渫、また、本市における内水治水整備計画、ポンプの点検整備や水路・側溝の早期復旧など、ハード・ソフト両面による水防対策について今後の取り組みはどうか。

下水道部長 現在、県の設置した「法華山谷川流域治水対策技術検討会」において、年

内に一定の方向性を見出すべく検討が進められているところである。また、本市においても、排水ポンプ施設の管理状況や排水路の状況を把握し、ソフト面を含めた内水対策についても検討していきたい。

その他の質問項目
台風十二号の防災対策とその後の被災検証について
七年前の台風二十三号の教訓は活かされたのか
加古川市地域防災計画および水防計画の見直しについて
それぞれの防災計画の見直し／第十二章防災に関する学習等の充実／被災地における感染症・衛生対策等／洪水時におけるトイレ対策
町単位のハザードマップと避難広報について
避難準備情報の発令／町単位の防災マップ作成／避難勧告・指示がどう伝わったか
危機管理室組織の在り方について
組織体制の見直し
法華山谷川治水対策について
法華山谷川の県および本市による氾濫発生要因の分析／被害調査と復旧対応状況
災害救助活動の初動体制と今後の事故再発防止に向けた取り組みについて
初動体制の対策見直し

キャラクターの

地域への出動は

中村 亮太 議員

議員 多くの自治体で「ゆるキャラ」が生み出されており、大きな経済効果をあげている。本市においてもゆるキャラを活用することで、街の活性化や地域の絆づくりにつながる。と考えるが、イベントなどへの出動状況はどうか。

地域振興部長 本市には、「ウエルビー」と「かつん・デミーちゃん」については、昨年七月以降で九十九日の出動となっている。多くは市のイベントだが、幼稚園などへの貸し出しや市民団体のイベントなどにも広く活用されており、今後も活躍の機会が増えるようPRしていきたい。

その他の質問項目
ゆるキャラを活かした街の活性化と地域の絆づくりについて

ゆるキャラが地域にもたらす効果／これまでの行政としてのサポート／グッズ販売
市ホームページのさらなる活用について

新市民病院建設の目的と理由について

追加
地域イベント掲載ページの追加

村上 孝義 議員

議員 新市民病院建設は、将来、現在の二病院の建て替えよりも一病院に統合して建て替えるほうが、機器を含めたトータルコストは安く、マンパワーの確保面、運営上の効率化など集約のメリットが期待できるためと考えるが、市の考えはどうか。

企画部長 両病院の診療を一つに集約することで、数多くの診療科を配備できる。また、複数の疾患を持つ患者への治療を提供できるとともに、二次医療を担う地域の中核病院として、高度専門医療の提供と高い教育研修機能を兼ね備えた、患者にとっても、医療従事者にとっても魅力ある病院となることを目指して、基本構想案の策定に向け検討を進めている。

その他の質問項目
市民病院機構発足までの説明事項について

医師不足問題の原因と内科医が減少した理由／内科医が増員出来た理由／独法が非公務員型を選択した理由
市民病院機構の経営状況等について

ついて

経営状況／中期計画の財政状況／マンパワーの状況／新市民病院の経営基盤の強化と収益確保費用削減／地域医療機関との連携の取り組み／市民病院機構と他の自治体病院等の広域連携

新市民病院の建設について
地域医療の確保／用地選定の理由と目的及び用地取得の進捗状況／建設整備費用と建設の手法／新市民病院建設後の東西の現市民病院の活用／市民病院機構としての運営／市民への情報提供の強化

市民病院機構の当面の課題について
災害拠点病院の機能整備／加古川夜間急病センターの充実

新市民病院へのアクセス関係について
新市民病院へのアクセス及びアクセス道路の整備／国道二号四車線拡幅対面通行化／東播磨南北道路と加古川中部幹線

新市民病院へのアクセス関係について
新市民病院へのアクセス及びアクセス道路の整備／国道二号四車線拡幅対面通行化／東播磨南北道路と加古川中部幹線

新市民病院へのアクセス関係について
新市民病院へのアクセス及びアクセス道路の整備／国道二号四車線拡幅対面通行化／東播磨南北道路と加古川中部幹線

ため池の多面的役割の認識について

玉川 英樹 議員

議員 東播磨地域には、県下で最大規模を誇るため池などが多数存在している。ため池

は、多面的機能を兼ね備えており、これからの地域の強い絆づくりを通してどのように守っていくのか。

地域振興部長 ため池は、農業用水の確保、防災などの機能を有するだけでなく、地域住民に安らぎと潤いを与える「地域の財産」でもある。地域住民が、ため池の多様な価値と可能性を見出し、水辺空間を活かした地域づくりを行うことが「地域の財産」を守り、地域の絆づくりにもつながると認識しているため、

ため池の持つ多面的役割や先進的なため池協議会の取り組みなどを広く市民に周知していきたい。

その他の質問項目
住基カードでの市民サービス向上と利便性向上について

行財政改革を進めるためのICT化の現状と今後／現在の交付状況と進捗率／利便性機能を生かした多目的利用／住基カードを利用した証明書コンビニ交付サービス／これまでの証明自動発行機の費用対効果を含めた今後の窓口発行業務の在り方

本市におけるため池の在り方について
これまでの本市におけるため池協議会の成果／今後の

ため池協議会の活動支援とその在り方

井上 津奈夫 議員

議員 安心して暮らすためには、高齢者及び障がい者、要介護者向け住宅改修支援制度の充実が求められる。現在の各住宅改修支援策は充実しているように見えるが、一部の視覚障がい者が、障がい者自立支援法に基づく住宅改修制度の対象にならないなど、改善の必要があると考えるが、市の見解はどうか。

福祉部長 介護保険制度による住宅改修費支給制度をはじめとし、障がい者自立支援制度によるものや県補助を利用した制度によるものなど、三つの制度の組み合わせなどにより支援事業を実施している。制度について、さらなる理解を求めるための周知徹底を図りたいと考えている。

その他の質問項目
高齢者及び障がい者、要介護者など生活弱者に配慮したまちづくり及び住生活環境向上への取り組みについて

交通不便地域の改善と合わせ、高齢者や運転免許返納者に対する敬老バスや低額バスなどの発給を検討する

増えているが、これらは高齢者だけの問題ではない。来年十月に「障害者虐待防止センター」の設置が求められることもあり、高齢者も障がいのある人も相談できる総合的な権利擁護センターの設置が必要と考えるがどうか。

福祉部長 本市では、虐待をはじめとした権利擁護について、各所管課において事案に適切に対応している。事案内容が複雑化する中、専門性が高く、法的権限等を有する部署が窓口となり、庁内及び関係機関との連携を密にすることで迅速・的確に対応していきたい。さらに、近隣市を調査し、すべての市民のためのよりよい権利擁護体制のあり方も検討していきたい。

その他の質問項目
歩行者と自転車の安全通行について

自転車通行可の歩道の状況／歩行者と自転車の通行空間を分ける路面標示と区画線の設置状況／自転車利用者のルール・マナー／自転車総合対策を受け、今後の歩行者と自転車の安全通行の取り組み

介護給付費適正化事業について
介護給付費適正化事業の現状と課題

介護給付費適正化事業の現状と課題

介護給付費適正化事業の現状と課題

介護給付費適正化事業の現状と課題

介護給付費適正化事業の現状と課題

防災対策のうちの

内水対策について

小林 直樹 議員

こと／高齢者や障がい者に対応した公営住宅の戸数の確保／市街化区域内にある農地の必要性の認識と保全への取り組み

議員 近年、集中豪雨や台風による洪水被害が増加しており、従来の河川、下水道の整備だけでは被害を防ぐことが困難である。本市においても、台風十二号により、法華山谷川、間の川流域等で家屋の浸水・道路の冠水が多数発生したため、早急に内水対策が必要ではないか。

下水道部長 都市化の進展に伴い、これまでの治水対策に限界が生じている。従来の河川整備や下水道整備と合わせて、地域における特性及び課題に応じた治水対策を組み合わせ、貯留機能の確保などの対策を組み合わせ、「総合治水対策」の推進が重要となる。今後、県の総合治水条例の施行と併せて、農地、ため池等の活用方法を検討したい。

その他の質問項目
「加古川市の防災対策」について

小規模公園の防災対策・整備の現状、課題／国の補助

西市民病院の中央診療棟について

岸本 建樹 議員

金制度を活用した防災公園の整備／台風十二号による被害の概況／治水条例制定の計画／国の水防法改正「脳せき髄液減少症の教育現場」へのさらなる周知について

議員 市は約六十一億円の費用を投入し、平成二十年度に中央診療棟を完成させたが、費用の繰返済額と償還完了時期を明らかにされたい。また、完成後二年余りでの「新統合病院の整備」への計画変更をどのように考えるのか。

企画部長 これまでの投資が無駄になるのではという点については、新統合病院が開院する平成二十八年度には、購入した医療機器は、十分な稼働年数を経過し、購入の起債償還は完了する。さらに新病院開設時点で使用可能な機器は、移設し、有効活用を図る。

また、累計費用の償還は平成五十一年の予定で、中央診療棟の有効活用については、具体的に検討を進めたい。

その他の質問項目
教育行政のあり方について

教育委員会のあり方（不当

第五期介護保険

事業計画について

三島 俊之 議員

な支配から教員を保護すべき義務）／教科書検定の問題点を鮮明にした沖縄戦における住民集団自決の記述紹介／当市での教科書採択事務の進め方

全国で広がるTPP参加反対表明／TPP参加による諸問題
市民病院統合再編問題について
行政懇談会での市長答弁／東市民病院増改修計画

議員 第五期介護保険事業計画は、「地域包括ケア」の考え方に基づき策定が進められるべきだと考えるが、その内容は、

福祉部長 本計画では、市民、事業者、行政それぞれが主体となり、高齢者が住み慣れた地域で尊厳を持ち安心して暮らせる社会を目指している。その実現のため、国の施策や施設整備など、新たな指針を踏まえるとともに前回の計画の進捗状況を再検証するなかで今後三年間の目標を設定している。その中では、地域密着型の理念を踏まえた介護サービスや施設の整備を計画的

に実施したいと考えている。また、地域包括支援センターの増設については、現状を

検証する中で総合的に検討を進めたい。

その他の質問項目
「地域包括ケアシステム」について

前期事業計画の地域密着型介護給付費、地域密着型介護予防費、地域支援事業費の計画値と実績見合いの評価と今後の取り組み／地域ケア会議の設置／二十四時間巡回・随時対応サービス

の活用／配食サービスの取り組み／サービスの付加価値の向上

「本庁の防災用自家発電設備」について
現状と今後の対策
「特別支援学校における外部人材の導入」について
介護職員等によるたんの吸引等の実施／外部人材（介護職員）の導入

高齢者や障がい者の総合的な権利擁護センターの設置について
木谷 万里 議員